

Contents >>>>>>>>

Part A 9

Model Presentation

模範プレゼン

いいプレゼンの特徴を知ろう 10

Speed Check

基本チェックリスト

予習とスピードチェック 17

Part B 23

Story 1

① 筋書き (1)

研究の「筋書き」を
しっかりと伝えよう 24

- 1.1 科学プレゼンとして
基本的な要素を揃えよう
- 1.2 視野を広げて研究の話科学や
社会全体の問題と関連付けよう
- 1.3 話の主要「登場人物」を
覚えやすく、区別しやすくしよう
- 1.4 自分を登場人物として
出演させよう
- 1.5 できるだけ聞き手に興味をもって
もらえるような説明にしよう

Slides

② スライド

無駄なく簡単にできる順番で
つくろう 34

- 2.1 目的スライドをつくろう
- 2.2 結果スライドをつくろう
- 2.3 結論スライドをつくろう
- 2.4 タイトルスライドをつくろう
- 2.5 方法スライドをつくろう
- 2.6 背景スライドをつくろう
- 2.7 つくったスライドのデザインを
チェックしよう

Script

③ 原稿

無駄なく簡単なスタイルで
原稿を書こう 55

- 3.1 できるだけ短くて
明確な表現を使おう
- 3.2 プレゼンのパート間の区切り
(スライドの種類) を
はっきりさせよう
- 3.3 情報源を明示しよう
- 3.4 学術論文を読み慣れていても、
形式張った「書き言葉」表現を
口頭でのプレゼンに
もち込むことは避けよう
- 3.5 原稿を作成するときには、
できるだけ簡単で明確な文法で
書こう
- 3.6 作成したスライドから文章形式
(SVO) のスライドタイトルや他
の要約文を原稿にコピペしよう

- 3.7 慣れない間は、スライドタイプに
応じて標準的に使われている
一番簡単な表現を使おう
- 3.8 タイトルスライドの原稿
- 3.9 背景スライドと
考察スライドの原稿
- 3.10 目的スライドの原稿
- 3.11 方法スライドの原稿
- 3.12 結果スライドの原稿
- 3.13 結論スライドの原稿

Story 2

④ 筋書き (2)

話しかける相手に合わせて 研究の筋書きを はっきり説明しよう 76

- 4.1 プレゼンする場にどんな人が
聞きにくるのか調べておこう
- 4.2 予想される来場者が
既に自分の研究分野について
どれだけ詳しく知っているか、
慎重に検討しよう
- 4.3 専門家ではない人に対しては、
データを少なくして背景説明を
多くしよう

Speaking

⑤ 発音

単語の発音や文章の強調単語を 確認しよう 86

- 5.1 プレゼンしている最中に
少し遠くからでもすぐに読める
ように原稿の書式を整えよう

- 5.2 原稿に書いてある単語の
正確な発音をチェックしよう
- 5.3 それぞれのスライドの意味を
はっきりさせる単語を強調しよう
- 5.4 原稿を暗記しよう

Stage

⑥ プレゼンのための表現力と質疑応答 親しみやすく熱意を込めて 103

- 6.1 表現力の練習を始める前に
原稿を確実に暗記しよう
- 6.2 実際の発表会場に
できるだけ近い条件で練習しよう
- 6.3 練習している自分の姿を
ビデオに撮ろう
- 6.4 聞き手と上手に意思疎通しよう
- 6.5 レーザーポインタを上手に使おう
- 6.6 質疑応答セッションで出てくる
質問をちゃんと聞きとれるように、
できるだけ前もって
リスニングの練習を始めておこう
- 6.7 質疑応答で聞かれそうな質問を
前もって想定しておこう
- 6.8 質疑応答「サバイバル術」を
練習しよう
- 6.9 自分自身を上手にプレゼンしよう

付 録 117

索 引 123